

2021年度 春学期の授業に関するアンケート調査の結果報告

5月上旬に、ALBOを通じて、学部の皆さんを対象にした「春学期の授業に関するアンケート調査」を実施しました。その結果、および学部としての対応についてご報告します。

1. 回答者

231名が回答してくれました。このうち1年生が126名、2年生が46名、3年生38名、4年生21名でした。

2. オンラインの授業と対面の授業の割合

両者の割合について、下の5つの選択肢から選んで回答してもらいました。

1. オンラインがかなり多い
2. オンラインがやや多い
3. だいたい同じ
4. 対面がやや多い
5. 対面がかなり多い

学年別に集計した結果を図にあらわしたのが、下の図1です。

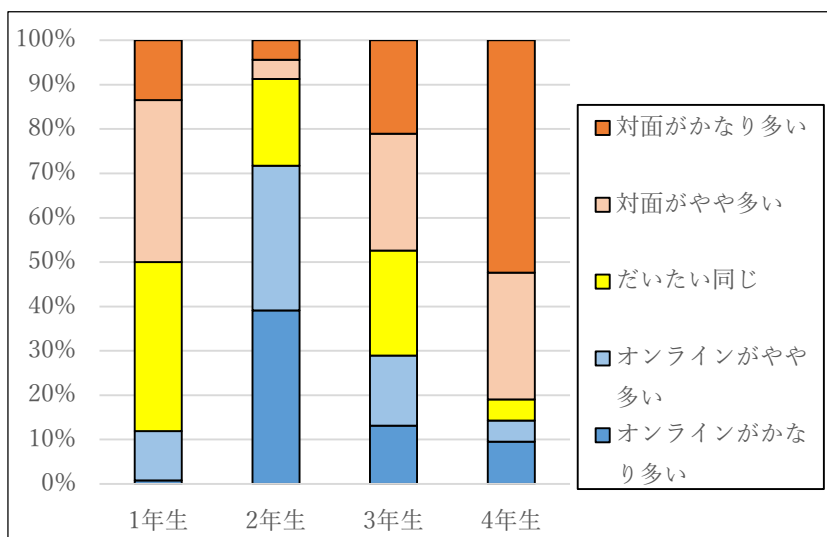


図1. 学年別にみたオンライン／対面の割合

1年生は、「(オンラインと対面) だいたい同じ」という回答が多く、対面の授業もわりとあることがわかりました。これに対し、2年生は、「オンラインの授業が多い」という回答が他の学年と比べて多いという結果でした。2年生のこの時期は全学共通の授業がまだ多く、

しかも全学共通の授業は履修者が 100 人を超えるものが多数あるために、オンライン授業が割合が多いのだと考えられます。

3. オンライン授業，対面授業での困りごとの有無

オンライン，対面のそれぞれの授業での困りごとの有無について尋ねました。

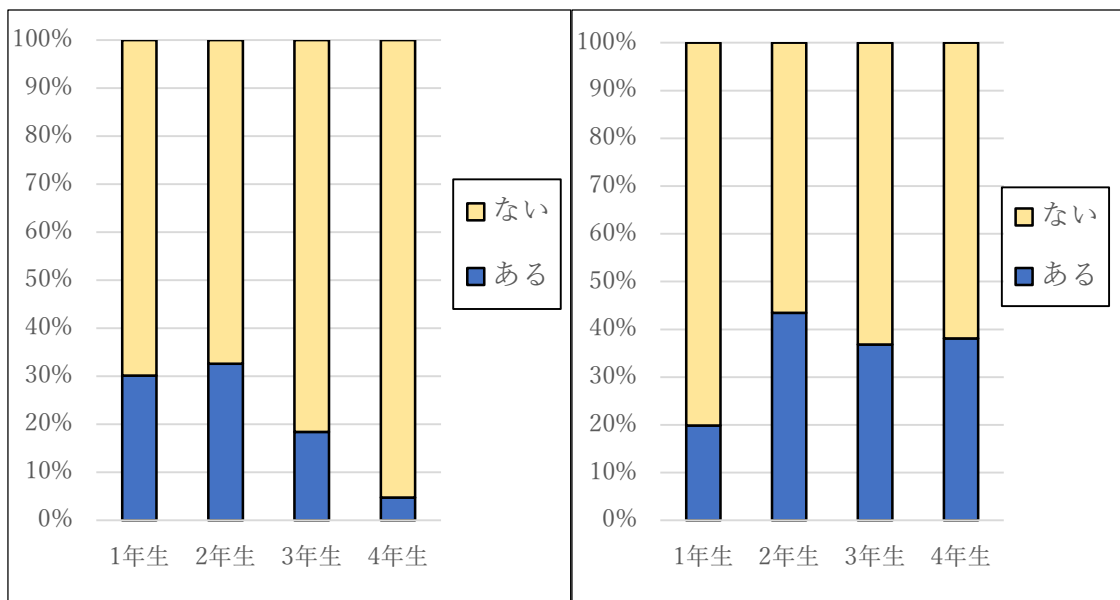


図2. オンライン授業の困りごと

図3. 対面授業の困りごと

これも、学年ごとに集計しました。オンラインでも対面でも、「困りごとがある」という回答は2年生が多く、オンライン授業に関する困りごとは、1年生もそれに次いで多いという結果でした。また3、4年生では、対面授業での困りごとがあるという回答が4割近くを占めていました。

4. オンライン授業，対面授業での具体的な困りごと

それぞれ自由記述での回答を求めました。その主な記述内容を、オンラインに関しては5つに、対面に関しては3つに分類し、集計を行いました。

オンライン	対面
1. 出席，課題提出できているか不安	1. 感染への不安
2. パソコン，インターネットの不具合	2. 授業中の密
3. オンデマンド資料への不満	3. 通学中の感染不安
4. 資料の印刷に関して	
5. 教員とのやりとりへの不満	

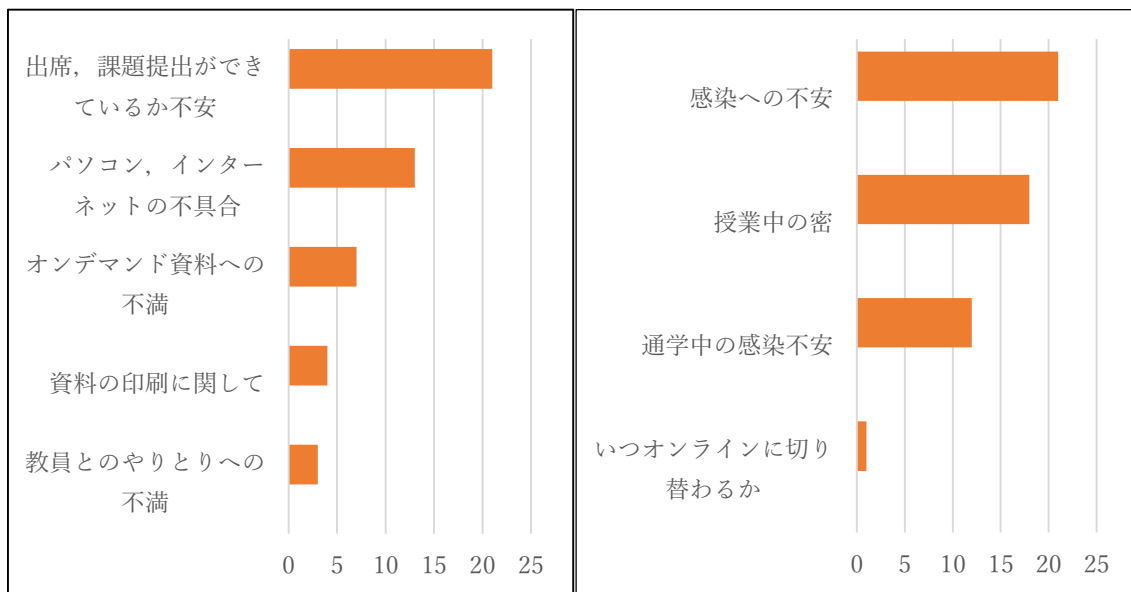


図4. オンライン授業での困りごと (単位：人) 図5. 対面の授業への困りごと (単位：人)

オンラインに関しては、「出席，課題提出できているか（確認できなくて）不安」という回答が最も多く、次いで多かったのが「パソコン，インターネットの不具合」でした。以下、「オンデマンド資料への不満」，「資料の印刷に関して（印刷代がかかる）」，「教員とのやりとりへの不満」と続きました。

いっぽう対面に関しては，上位3つはいずれも感染に対する不安に関するものでした。その他，休憩時間，昼休みの時間の食事に関する学生のマナーについて述べられたものもありました。

5. 以上の調査結果を踏まえて

まず一番にお伝えしたいのは，2年生の皆さんにご不便をおかけしていることへのお詫びです。2年生の皆さんには，昨年度も春学期は全面オンライン，今年度もまた引き続き，オンライン授業が多い状況になっています。いろいろと不便だろうとは思いますが，オンライン授業に関して今回届いた要望に関しては，学部教員では共有して対応することとし，学部以外の教員が担当している科目については，皆さんの現状を教務課に伝えましたので，しばらく様子を見てください。

● オンライン授業での困りごとに関して

オンライン授業に関しての困りごとで最も多かったのは，「出席，課題提出できているか不安」というものでした。ネットワークを介してのことなので，この不安はしごくもったもだと思えますが，どうしても心配だという場合は，一度，科目担当教員に「出席できているか」，「レポート提出できているか」を確かめてはどうでしょうか。また，春学期の成績評価

において、「きちんと出席していたのに欠席扱いになっている」、「提出したはずなのにこの評価はおかしい」といった疑念が生じた場合は、定められた期間に教務課に相談するようにしてください。場合によっては、資料のダウンロード、レポート提出の画面など、スクショなどで記録しておくのもエビデンスの一つになると思います。

次に、「パソコン、インターネットの不具合」ですが、たしかに自宅のオンライン環境には個人差があると思います。自宅のオンライン環境に問題がある場合の最善の策としては、大学の教室を利用してもらうことです。学内には、ネットワーク環境の整った教室が自習用に確保されていますので、そうした教室の利用も検討してください。

「オンデマンド資料への不満」に関しては、「音声による説明を入れてほしい」、「音声が聞き取りにくい」、「90分を超える資料があり、他の授業の受講に支障がある」などの意見がありました。学部の教員が担当する講義に関しては、この点、情報共有し、対応を考えることにしました。また併せて教務課にも、皆さんからこういう意見があったことを伝えました。^{注1}

「資料の印刷」は大きな問題だと思いました。仮に大学で資料を印刷するにしても、ポイント数が決まっていて、それを超えて資料の印刷を希望する場合は、お金を払ってポイントを買うシステムになっていると思います。これについては、教務課に皆さんの現状を伝えました。

「教員とのやりとりへの不満」の具体的な内容では、「教員に質問のメッセージを送っても反応がない」というものがありました。これについても、学部の教員では情報共有し、学部外の教員に関しては、現状を教務課に伝えました。

● 対面授業での困りごとに関して

「授業中の密」については、それなりに大きめの教室が準備されているはずですが、それでもなお、受講人数のわりに教室が狭いということがあるのかもしれませんが。教務課に尋ねたところでは、その授業の時間帯にもっと広い教室の空きがある場合は、教室の変更も可能だということでした。担当教員も教室での学生の様子には気を配り、密になっていないか注意しながら授業を実施していると思いますが、それでも心配であれば、学生の皆さんから、科目担当教員に教室変更の希望を伝えてみてはどうでしょうか。

「通学中の感染不安」は、特に朝の早い時間帯の電車等での混雑は心配だと思います。これも難しいところですが、皆さんの不安を科目担当教員に伝え、自宅でのオンライン受講ができないか相談してみてもどうでしょうか。

● その他

休憩時間、昼休みの状況については、教務課に皆さんのご意見を伝えました。これに関連して、学生サポートセンターには、学生の皆さんが安心して昼食がとれる場所が多少あると

いう情報を得ました。席数に制限があると思いますが、食事に関して心配がある人は、学生サポートセンターの利用もご検討ください。

最後に

愛知県は、いまま緊急事態宣言下にあり、5月末に解除されるかどうか微妙な状況にあるといます。現時点では、オンラインと対面の併用で授業を実施していますが、もし学内で感染が広がるなどした場合は、全面オンラインに変更される可能性もあります。繰り返しいろいろなところで言われていることですが、飲食の場での感染がとりわけ多いと聞きます。感染を広げないよう、また自分が感染しないよう、いましばらく注意を続けながら毎日を過ごしてください。

学部としては、少しでも皆さんの不都合、不便が改善されるようできるかぎりの対応をとりたいと思っています。一緒にこの難局を乗り切りましょう。

いっぽうで、上にも書きましたが、授業のことは、皆さん自身が科目担当の先生に要望を伝えることで、対策を考えてもらえる可能性もありますので、気になることがあったら相談してみてください。

注1 文部科学省の省令で定められている大学設置基準では、講義科目2単位を認定するには90時間の学修が必要であると明記されています。授業回数が15回であれば、1回あたり6時間（90時間÷15回）の学習が必要です。すなわち、授業時間の90分以外に4時間半の事前・事後学習をすることが原則とされていますので、この点をご確認ください。なお、「90分を超える資料」が、それに続く別の講義の受講に支障をもたらすといった場合は、問題だと思しますので、教務課等にご相談ください。